

## 遊びから考える子どもの権利

香川県立観音寺第一高等学校 1年 藤村小桜

子どもの権利が尊重される社会のために、私は「遊び」が必要であると考えた。「遊び」を大切にすることは

- 子どもの権利を守ること
- 子どもの人権力を育むこと

につながっていくのではないだろうか。

私は将来小学校の教師になり、子どもたちが毎日楽しく過ごすことができる環境を作りたい。子どもの権利が尊重される社会のために私にできることは何だろうか。

私は小学校時代を全校生徒 100 人前後の小規模校で過ごした。そのため、同級生はもちろん学年を問わずみんな一緒になって鬼ごっこやかくれんぼをし、ジャングルジムやブランコ、シーソーなどの遊具で毎日思いっきり体を動かして遊んでいた。何もない通学路や原っぱも一人、二人と仲間が増えれば自然と様々な遊びにつながっていった。時には、地域の人や友達のお母さんといった大人に注意されることもあったがその中で善悪の区別をつけることができ、また親以外にも私を見守ってくれている人がいるという安心感にもつながった。私には、遊ぶ時間、仲間、安心できる場所があった。

様々な遊びの経験は心と体を成長させてくれた。例えば、遊びの中で遊具や役割を譲り合うことによって相手を尊重し自分の気持ちを抑制することを学び、かくれんぼのように隠れる側と探す側など役割を分けた遊びではいろいろな立場を経験し様々な立場に立って考えることで、その場に応じて適切な判断をする力を身に付けることなどができたと考えられる。このように遊びを通して、みんなが公平になるように自分たちで意見を出し合い状況に応じてルールをかえたりしながらどうしたらみんなが楽しく遊べるかを自分たちなりに考えることができた。このことから遊びの経験は私たちの「人権力」を育てていってくれたのではないかと考えた。そこで、体を使った「遊び」を軸に子どもの権利が尊重される社会について考察していくことにする。

まず、遊びは具体的にどのような効果をもたらすのか。文部科学省の幼児期運動指針を参考に考えた。

遊ぶことが子どもにもたらす効果

### ① 体力・運動能力の向上

外で走ったり跳ねたり登ったり多様な動きをしてたくさん遊ぶことで体力をつけるとともに運動能力を向上させることができる。体力をつけることは、健康的な体を作ることに

加えて、やる気や集中力を持続させるといった精神面でも重要となる。また、運動能力を向上させることは、自分の体をうまく使うことや、周りの状況からの確に判断し予測して行動することにつながる。

## ② 健康的な体の育成

遊びの中で多様な動きをすることは丈夫でバランスの取れた体を育むことができる。また、肥満ややせすぎを防ぐ子世にもつながり健康的な体を作ることにもつながる。体調不良を防ぐため身体的、精神的に疲れにくい体となり元気に活動できる。

## ③ 意欲的な心の育成

やりたいことを積極的に行うことは自分の興味や関心を深めることにつながる。また遊びの中で成功経験があれば意欲的に物事に取り組む力が育つ。

## ④ 社会適応力の発達

友達と遊ぶ中で決められたルールを守り、友達のことを考えて自分の考えや行動をコントロールするなど協調する社会性を身に付けることができる。

## ⑤ 認知能力の発達

遊びの中でその場に応じて状況を判断したり次に起こることを予測したりする思考力を求められることで脳の発達につながる。また、遊びのルールを自分たちで考えアレンジしたり、新しい遊びを考えたりすることは創造力を育むことにつながる。

## ⑥ ストレスの軽減

思いっきりのびのびと体を動かすことでたまったストレスを発散させることができる。

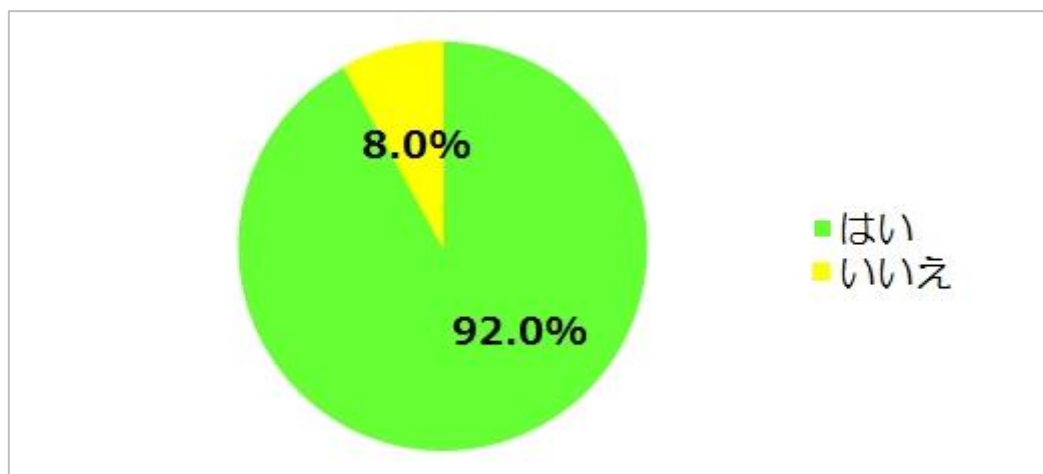
このように遊ぶことは子どもたちの心と体を成長させ、心を休ませることにもつながっていることがわかる。子どもの権利である「心身ともに健康に、自分らしく育つ」ために遊びが大切であり、遊びは子どもたちにとって生きていくうえでたいせつなスキルを身に付ける場であることもわかる。

では次に現代の子どもと遊びについて、体を使った遊びの多い外遊びのグラフから考える。

最近の子どもたちは外で遊ぶ時間が減ってきていると感じている人はどのくらい増えているのか。

グラフ 1

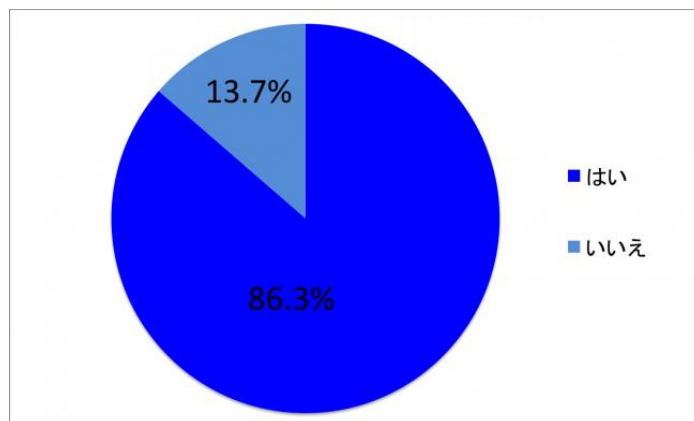
あなたが小学生の頃に比べて子どもの屋外での遊びが減少したと思いますか？



この調査では保護者が小学生のころと比べ、今の小学生の子どもの遊びが減少したと思う割合は 92.0%だった。

グラフ 2

あなたが幼児期から小学生の時と比べ、子どもの「外遊び」の機会が減少したと感じますか？



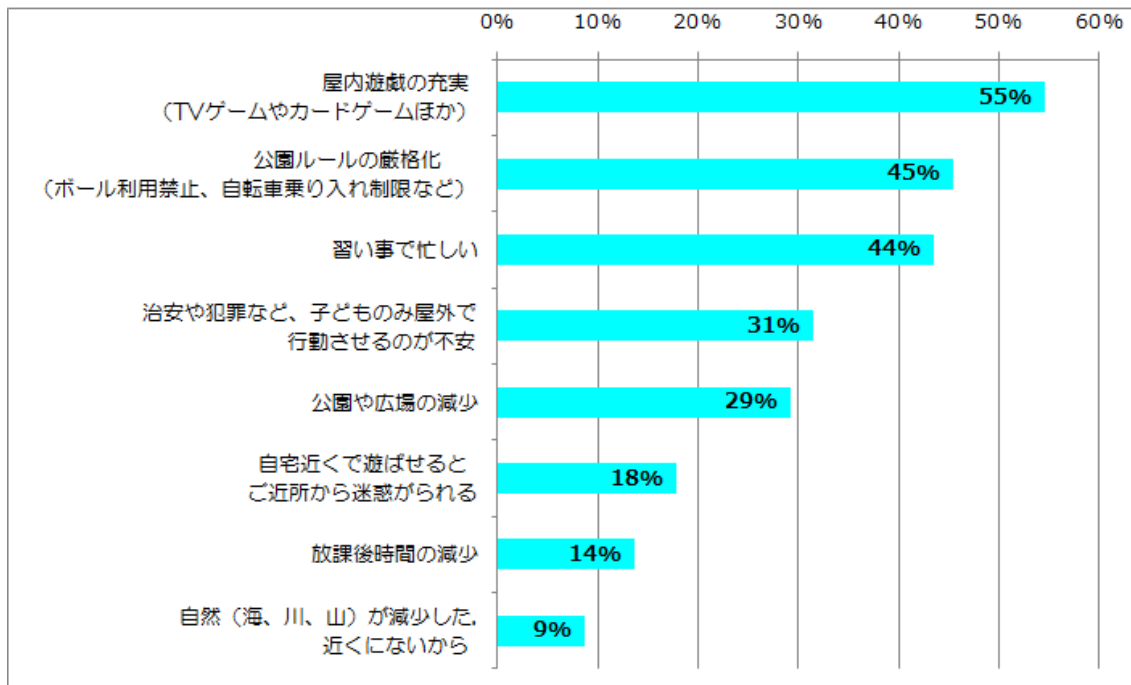
この調査では子どもの「外遊び」が減少したと感じる保護者の割合は 86.3%だった。

以上の二つのグラフから子どもが外で遊ぶ時間が減ってきているといえる。

では、子どもの遊ぶ時間が減っていることには何の関係しているのだろうか。

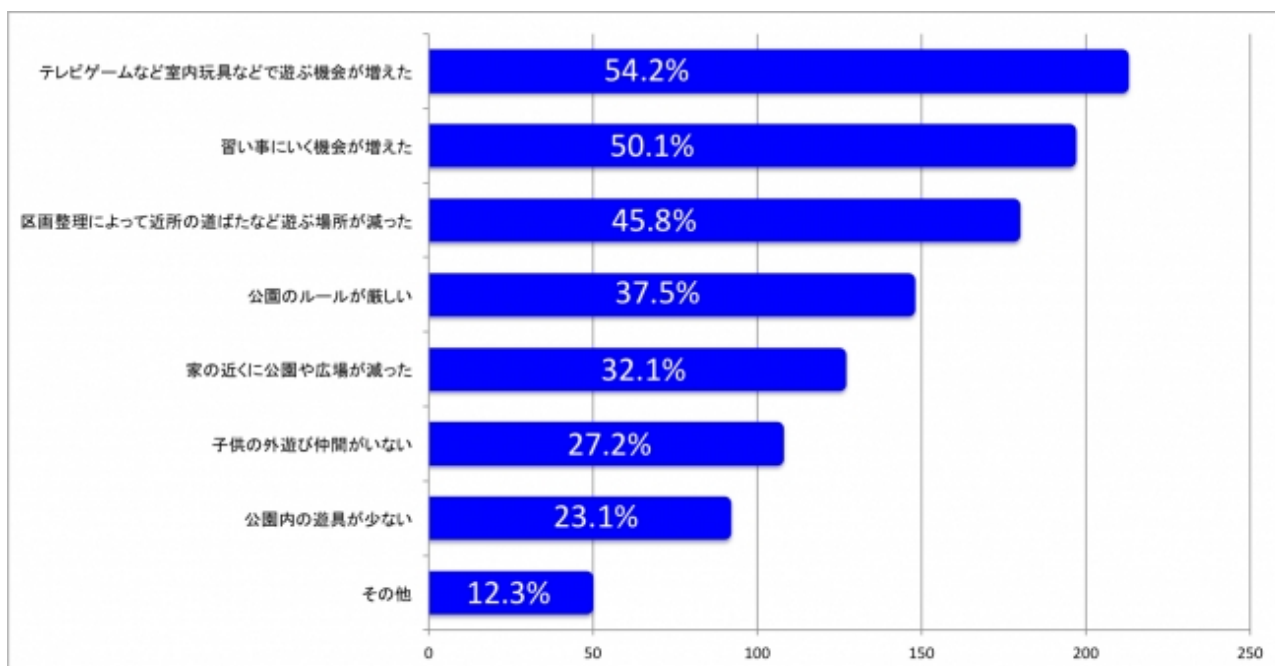
グラフ 2-①

屋外での遊びが減少したのはどのような要因が関係していると思いますか？



グラフ 2-②

子どもの「外遊び」が減少したと感じる理由は何でしょうか？



グラフ 2-①、グラフ 2-②からわかる理由として

- ① 室内遊戯の充実化により外で遊ぶ時間が減った
  - ② 公園のルールの厳格化
  - ③ 習い事で忙しい
  - ④ 遊ぶ場所の減少
  - ⑤ 治安や犯罪など、子どものみ屋外で行動させるのが不安
  - ⑥ 遊び相手がいない
- があげられる。

それでは、なぜそのような問題が起こったのだろうか。

- ① の「室内遊戯の充実化により外で遊ぶ時間が減った」について

ゲームが広く普及したことによって一人で遊べる環境が作られ、友達と外で遊ばなくなったと考えられる。また、室内遊戯のほうが外より安全だと考える親が増えたことも考えられる。

- ② の「公園のルールの厳格化」について

ルールの厳格化は公園での安全確保のためである。遊具がなくなったり、ボール遊びを禁止されたり大人による制限によって子どもたちの遊びの種類が減ってしまっている。

- ③ の「習い事が忙しい」について

習い事が多いことは遊ぶ時間を削ってしまうだけでなく子どもにとってストレスや疲労の原因になっていると考えられる。また、大人が子どもに知らずのうちに期待しすぎていることで子どもに重圧がかかっていることも考えられる。

- ④ の「遊ぶ場所の減少」について

遊ぶことができる公園や広場が減っているだけでなく、区画整備や交通量の増加、地域の人からの苦情により近所の道端で遊ぶにくくなっている。

- ⑤ の「治安や犯罪など、子どものみ屋外で行動させるのが不安」について

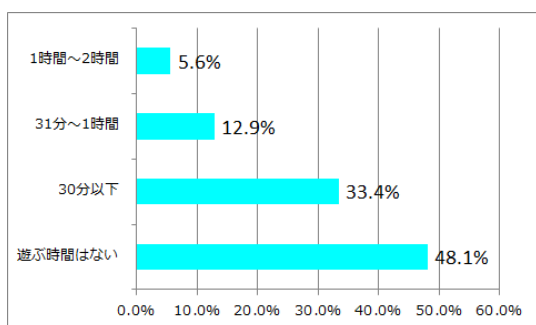
大人の心配のし過ぎで子どもの遊びが制限されていると考えられる。

- ⑥ の「遊び相手がいない」について

習い事など忙しい子どもが増えていることで一緒に遊ぶ友達がいなかったり、次のグラフ 3 からわかるように大人が子どもと遊ぶ時間が減少したりしていることが原因だと考えられる。

グラフ 3

放課後、保護者様とお子さまと一緒に、外で遊ぶ時間はどのくらいですか？



これらのことから私は、子どもの権利を守り、子どもの人権力を育むためには、子どもたちの遊ぶ時間・仲間・安心できる場所を奪わないようにするべきだと考える。現代の子どもたちの遊びは大人に制限されていて、気がつかないうちに子どもたちから遊びが奪われてしまっている。大人の考えばかりではなく子どもの声を聴くことで遊びを大切に「子どもの権利を守る」社会にしたい。

また、私は、子どもたちに遊びを強制するのではなく子どもたちを一人一人の人間として尊重し、たくさんの遊びの中で互いの苦手なことを受け入れ得意なことを生かしながら楽しく遊べるよう自分たちで工夫し挑戦してみる力を育てたい。そのために子どもに足りない知識や経験を補いながら様々な選択肢を示していくことで「子どもの人権力を育む」ことができる教師になりたい。そして、共に学び、様々な遊びの楽しさを教えることでのびのびと遊べる子どもを育てたい。

これからの社会を変えるには担い手である大人が変わらなければならない。様々な遊びを経験した子どもたちは、大人になっても自然と子どものことを考えられる人になり、子どもの人権が守られる社会を作り続けることができるであろう。子どもの権利が尊重される社会のために私が教師となりできることは「遊び」の良さを子どもたちと、子どもたちにかかわるすべての大人たちに伝えていくことだ。人と人とお互いに思いやり、支えあって生きていける社会を遊びによって取り戻したい。

## ■参考文献

- ・体を動かすことが子どもにもたらすことについて

出典：[www.mext.go.jp/a\\_menu/sports/undousisin/1319771.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/undousisin/1319771.htm)

(文部科学省 幼児期運動指針)

- ・子どもの遊ぶ時間について

出典：[https://www.coerver.co.jp/magazine/survey/457/?doing\\_wp\\_cron](https://www.coerver.co.jp/magazine/survey/457/?doing_wp_cron)

出典：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000011.000010289.html>

- ・子どもの遊ぶ時間が減ったことについて

出典：[https://www.coerver.co.jp/magazine/survey/457/?doing\\_wp\\_cron](https://www.coerver.co.jp/magazine/survey/457/?doing_wp_cron)

出典：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000011.000010289.html>

- ・親と子どもが遊ぶ時間について

出典：[https://www.coerver.co.jp/magazine/survey/457/?doing\\_wp\\_cron](https://www.coerver.co.jp/magazine/survey/457/?doing_wp_cron)

- ・子どもの権利について

出典：[https://www.unicef.or.jp/about\\_unicef/about\\_rig\\_all.html#4](https://www.unicef.or.jp/about_unicef/about_rig_all.html#4)

(子どもの権利条約 | ユニセフについて | 日本ユニセフ協会)